

松長小学校の今後の在り方に関する方針について

はじめに

市教育委員会では、松長小学校の将来的な児童生徒数の動向を踏まえ、令和元年12月に「松長小学校の今後の在り方検討会（以下、「在り方検討会」という。）」を組織し、学校の今後の在り方について、これまで15回にわたり協議していただきました。

去る11月24日に、在り方検討会から「検討結果」をご提出いただきました。検討結果については、『在り方検討会では、将来の松長地区の子供達の教育環境について、「複式学級による学校の存続」か「学校統合による複式学級の解消」のどちらが望ましいかを慎重に検討しましたが、最後まで委員間の意見が大きく分かれる結果となり、現時点でどちらかの結論を選択するまでには至りませんでした。ついては、市教育委員会におかれては、これまでの在り方検討会における協議内容や意見、地域住民等に対するアンケート調査で寄せられた地域の声をしっかりと受け止め、将来の松長小学校の方向性を地域に示すよう要望します。』というものでした。

この検討結果の提出を受け、在り方検討会での意見や協議内容、地域住民へのアンケート結果や、保護者が実施したアンケート結果、市議会の意見などを踏まえながら、第一に、子どもたちの教育環境を最優先に考え、これまで教育委員会で協議してまいりました。

本日は、その協議の結果について、教育委員会の方針としてお示させていただくものとなります。

1 教育委員会の方針について

市教育委員会では、約2年間にわたるこれまでの数々の協議を経て、12月23日に開催の教育委員会において、松長小学校の今後の在り方に関する方針を次のとおり決定いたしました。

1. 将来的に複式学級を伴う過小規模校としての存続は、子供たちの社会性を育成するうえで望ましい教育環境とは言えないものと判断いたします。
したがって、松長小学校は現4年生が卒業する令和5年度末をもって廃止し、令和6年度から同じ燕北中学校区の小中川小学校と統合することといたします。
2. 保護者が令和4年度から学区外の学校への入学・転校を希望する場合は、学区外就学の申請を受理いたします。
また、松長小学校から小中川小学校への学区外就学を希望する児童に対しては、令和4年度からスクールバスの運行を実施いたします。
3. 松長小学校の跡地活用については、市長部局に引き継ぎ、今後、検討してもらいます。

燕市の子供たちがより良い環境で学校生活を送るためには、これからも保護者の皆さまをはじめとする、地域のご理解、ご協力が不可欠でありますので、このたびの方針決定が、子供たちの教育環境を最優先に考えての決定であることをご理解いただき、一層のご協力を賜りますようお願いいたします。

2 今後の予定について

令和6年度までの2年間で準備期間と位置づけ、松長小学校と統合先となる小中川小学校の保護者や学校関係者からなる統合準備会（仮称）を組織し、検討することを予定しています。

統合準備会（仮称）では、統合までの2年間で年間行事や交流事業の計画・実施、スクールバスや地域連携の在り方及びPTA規約の検討等を行う予定です。この間で、両校がそれぞれの良さを認め合い、未来に希望を持って統合を迎えることができるよう、次の点に着目し取り組んでまいります。

① 子供同士の交流について

両校の教育関係者が連携し、子供たちへの目配りをしながら、児童及び保護者間の交流を進めてまいります。

② 子供たちの心のケアについて

学校がかわることによる期待や楽しみもある反面、大きな不安も当然あります。不安を抱えた子供に対し、相談員の派遣やスクールカウンセラーの活用等により丁寧に対応していきます。

③ 学力への対応について

統合までの期間に複式学級が生じる場合は、学習支援員等を配置し、子供たちの学習環境の充実を図ります。

④ 地域の方々の交流について

地域からの学校支援は、学校運営に必要不可欠な状況であります。地域間の交流が図られるよう、統合準備会（仮称）を通じて交流の機会を設定していきます。

3 小中川小学校への地域説明会の開催について

今後、小中川小学校の保護者や地域の皆さまを対象に地域説明会を開催する予定です。